

渋谷区立図書館のあゆみ

時代	年代	西暦	事項
大正	4年11月	1915	渋谷町立大和田小学校内に、町立図書室開設。（渋谷図書館の前身）
	8年4月	1919	大正天皇ご大典記念行事として建設された公会堂（渋谷町大字下渋谷字代官山 935番地）内に、37㎡の町立図書館を開設し、前記図書室を移転。
昭和	7年10月	1932	都町村合併により東京市に移管、東京市立渋谷図書館となる。
	12年9月	1937	公会堂全施設を渋谷区立商業学校が使用することとなり、再び大和田小学校内に移る。
	15年4月	1940	区立商業学校が長谷戸小学校旧校舎へ移転したため、再び公会堂へ戻る。
	20年5月	1945	25日夜半、アメリカ国空軍の大空襲により全焼。焼失資料6,686冊。
	20年12月	1945	都立外神田図書館ほか18館からの所属換図書と、区内の篤志家からの資料の寄贈などを受け、旧徳川邸（千駄ヶ谷）において復興準備に着手。
	21年2月	1946	旧徳川邸の日本間、洋間3室を使用して有料で開室。蔵書3,955冊。
	21年4月	1946	常磐松国民学校（現在の渋谷区立常磐松小学校）に移転。2教室を使用して開室。
	22年4月	1947	管理運営を東京都から渋谷区長に委任される。
	25年10月	1950	管理運営が東京都から渋谷区に移管され、渋谷区立渋谷図書館となる。区立渋谷図書館条例、同使用条例が設定される。
	26年4月	1951	区立渋谷図書館条例が廃止され、無料開放される。
	29年4月	1954	渋谷区役所笹塚出張所、同初台出張所にブックステーションを開設。
	31年8月	1956	常磐松小学校内に区立渋谷図書館専用の建物が落成開館。延面積406㎡、座席数184席。
	32年10月	1957	「しぶや号」による自動車文庫を区内10ヶ所に開設。
	38年6月	1963	渋谷区立西原図書館開館。（区内で2番目の図書館）
	45年4月	1970	渋谷区立中央図書館開館。夜間開館を行う。（区内で3番目の図書館）
50年2月	1975	渋谷区立笹塚図書館開館。（区内で4番目の図書館）	
51年3月	1976	笹塚図書館、レコード、カセットテープの貸出を開始。	
52年9月	1977	渋谷図書館、常磐松小学校内より現在地に移転し、新館開館。	

時代	年代	西暦	事項
昭和	53年 3月	1978	渋谷図書館、レコード、カセットテープの貸出、試聴を開始。
	53年 5月	1978	渋谷図書館、身体障害者、老人等、来館の困難な区民に自宅まで資料の集配送業務を開始。
	53年 6月	1978	渋谷図書館、幡ヶ谷社会教育館、初台青年館、代々木青年館の一室に出張図書室を開設。
	55年 5月	1980	渋谷図書館、恵比寿社会教育館の一室に出張図書室を開設。
	56年 5月	1981	渋谷図書館、恵比寿社会教育館長谷戸分館の一室に出張図書室を開設。
	60年 7月	1985	渋谷区立渋谷図書館富ヶ谷分館を開設。（区内で5番目の図書館）
	62年 4月	1987	渋谷図書館、コンパクトディスク（CD）を貸出開始。
平成	元年 6月	1989	渋谷区立本町図書館開館。区内で最初の電算システムを導入。レーザーディスク（LD）の視聴設備を設置。夜間開館を行う。（区内で6番目の図書館）
	2年 1月	1990	渋谷図書館富ヶ谷分館に電算システムを導入。 中央図書館に外国語図書コーナーを開設。
	3年 1月	1991	中央、西原、渋谷、笹塚の各図書館に電算システムを導入、区内全図書館を結ぶオンラインシステム始動。 休館日が全館統一される（毎週月曜日〔第2日曜日の翌日を除く〕・第2日曜日・第2木曜日・祝日・年末年始・特別整理期間）。
	3年 4月	1991	組織改正により、中央図書館を中心とする中央館体制がスタート。 渋谷図書館富ヶ谷分館が富ヶ谷図書館となる。 区内全図書館で夜間開館サービスを開始（19時まで、水・木・金の3日間。中央図書館のみ火～土）。 配本車運行開始、図書館間の協力貸出が迅速化される。
	4年 7月	1992	休館日が変更される（毎週月曜日・第2木曜日・祝日・年末年始・特別整理期間）。
	4年 9月	1992	西原図書館、コンパクトディスク・カセットテープの貸出開始。
	5年 4月	1993	渋谷図書館のカセット点字図書室資料、区内全館での協力貸出開始。
	5年11月	1993	区内全図書館で雑誌リサイクルを開始。
	6年11月	1994	渋谷図書館、貸出カウンター一本化によりCD貸出時間延長。
	7年 2月	1995	雑誌貸出方法統一

時代	年代	西暦	事項
平成	7年 4月	1995	渋谷図書館、対面朗読サービスを開始。 図書館の電話による再貸出サービスを開始。
	7年 5月	1995	新利用者開放システムを導入。(新けんさくくん)
	7年 7月	1995	コンパクトディスク・カセットテープの電話による再貸出サービスを開始。 渋谷区立大和田図書室開室。
	7年11月	1995	図書館の個人リサイクルを実施する。
	8年 4月	1996	本町図書館、対面朗読サービスを開始。
	9年 1月	1997	恵比寿出張図書室、視聴覚資料を貸出開始。
	10年 5月	1998	電算システム(利用者開放システムを除く)更新。
	11年 4月	1999	出張図書室が渋谷図書館から中央図書館に移管される。
	11年 7月	1999	大和田図書室の夜間開室始まる。
	12年 4月	2000	「渋谷区立図書館組織運営要綱」改訂
	12年11月	2000	中央図書館と渋谷図書館にブックディテクション設置
	14年 1月	2002	貸出冊数 5冊から10冊に。
	15年 3月	2003	新図書館システム稼動。館内OPAC(けんさくくん)から、利用者自身による予約が可能になる。
	15年 4月	2003	祝日と月曜日が重なる場合の翌火曜日休館を開館とする。
	15年 5月	2003	代々木出張図書室が代々木図書室となる。水・金・土・日曜日開室。
	15年 5月	2003	インターネット・携帯電話による図書及び雑誌の予約サービスを開始
	15年 8月	2003	視聴覚資料の区内全館での貸出・予約サービス開始
	15年 9月	2003	ブックスタート事業開始
	16年 4月	2004	館内OPAC(けんさくくん)、インターネット、携帯電話からの視聴覚資料の予約サービスを開始
	16年 4月	2004	中央図書館・大和田図書室が開館日時を拡大
16年 9月	2004	区役所3階区政資料コーナーに利用者開放端末「けんさくくん」を設置	
17年 4月	2005	代官山スポーツプラザ内にブックポストを設置	

時代	年代	西暦	事項
	17年 4月	2005	中央図書館・大和田図書室を除く地域館が開館日・開館時間を拡大 中央図書館は設備保守点検のため、偶数月の第1月曜日が休館となる
	17年 7月	2005	大和田図書室が中央図書館大和田分室となる
	17年12月	2005	恵比寿・広尾地区の新館開設により、恵比寿・長谷戸出張図書室閉室
	18年 2月	2006	渋谷区立臨川みんなの図書館開館（区内で7番目の図書館）
	18年10月	2006	大和田図書室休室（新館建設の間）
	19年 4月	2007	子ども読書推進活動（しゅやおすすめの本50）の開始
	20年 3月	2008	西原図書館休館（新館建設の間）
	20年 7月	2008	代々木図書室休室（新館開設のため）
	20年11月	2008	渋谷区立代々木図書館開館（区内で8番目の図書館）
	21年10月	2009	図書館電算システム更新
	22年 3月	2010	改築のため休館中の西原図書館が開館
	22年 5月	2010	中央図書館が新館に移転
	22年 6月	2010	渋谷区立笹塚こども図書館開館（区内で9番目の図書館）
	22年 9月	2010	区内全図書館にICタグ導入 笹塚こども図書館を除く図書館に自動貸出機の設置完了
	22年11月	2010	渋谷区立こもれび大和田図書館開館（区内で10番目の図書館）
	24年 3月	2012	自動音声電話による予約資料取置連絡サービスを開始
	24年 4月	2012	代々木、笹塚こども図書館を除く図書館の休館日を変更
	24年 7月	2012	予約資料取置期間を7日間に変更
	26年12月	2014	中央図書館・大和田図書館が開館時間を拡大
	27年 4月	2015	笹塚図書館が新館に移転（開館日・開館時間を拡大）
	28年 3月	2016	笹塚図書館で座席利用受付システム運用開始
	29年 4月	2017	図書館電算システム更新 （座席利用受付システム、読書手帳、予約かご、予約棚、自動返却機導入）
	29年 4月	2017	貸出冊数 各館10冊、全館30冊から全館30冊に変更 視聴覚資料貸出点数 各館3点、全館9点から全館10点に変更
	29年 4月	2017	こもれび大和田図書館で座席利用受付システム運用開始

時代	年代	西暦	事項
令和	29年 7月	2017	西原図書館で座席利用受付システム運用開始
	30年 2月	2018	電子図書館試行開始
	3年 4月	2021	電子図書館本格稼働 図書除菌機設置
	3年 12月	2021	中央図書館4階に和田誠記念文庫開設
	4年 3月	2022	渋谷図書館閉館
	4年 4月	2022	白根図書サービススポット運営開始
	4年 9月	2022	図書館システムリプレイス LINE連携開始
	4年 12月	2022	図書館ホームページリニューアル(スマートフォン対応)